



ホームページ
「中野あきと」

日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

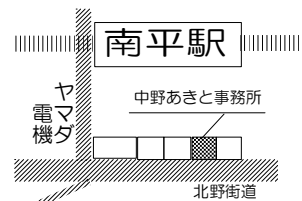
みどりと清流

中野あきと事務所 第139号
〒191-0041 日野市南平7-6-72
TEL・FAX 042-599-3350 2013年
発行責任者 小林 進 12月発行

しん 赤旗
ぶん

日刊紙1ヶ月 3400円
日曜版1ヶ月 800円
お申し込み 党南多摩事務所
TEL 042-374-4384
または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



退陣直前になってにわかには3市共同の「広域化」に踏み込んだ馬場前市長も、昨年11月の住民説明会では「決めるのは市民。進めてよいか判断してほしい」「だめなら前には進めない」と質問に答えました。今年6月の中野市議の質問に対し大坪冬彦市長は「住民合意には二つあり、市民全体の理解と周辺住民の理解」と説明しています。

態度を豹変させた市に対し中野市議は、「それで市民の信頼が得られるのか」「市は、取り返しのつかないことをやっている」と追及。市は「第一次的には行政が判断するもの」と開き直りの答弁を行い「全てに人に理解は得られていないが一定の人には…」と繰り返しました。

再度ごみ問題を問う 12月議会 中野あきと市議本会議質問

「住民合意」の前提はどこへ 焼却処理依存を改め「ごみ減量」を更に

繰り返しの約束された「住民合意」
「住民合意がなければ一歩も前には進めない」という言明は、日野市がこれまで繰り返してきたことです。

小金井市・国分寺市とこの3月に結んだ覚書によれば、3市は「周辺住民の理解を得て可燃ごみの広域処理に向けた新施設の建設について、共同で進めるものとする」とあります。当時の副市長は「3市で協定をつくるのであれば、その前提として周辺住民の理解を得ていなければ前に進まない」という意味での停止条件」だと述べています。

繰り返しの約束された「住民合意」
「住民合意がなければ一歩も前には進めない」という言明は、日野市がこれまで繰り返してきたことです。

中野市議は、市の環境基本計画にある「環境の保全、回復及び創出」に照らし「ごみ減量」を更に進めることを改めて提案しました。可燃ごみの半分は生ごみと草木です。これをヨーロッパなどのようにコンポスト（肥料）やバイオマスエネルギーに活用すれば、燃やすごみは半減できます。日野市の不燃ごみの83%は焼却処理され、廃プラスチックのほとんどが燃やされているのが現状です。ここにメスを入れば減量化はさらに進みます。

ごみ処理のあり方にさまざまな意見はありますが、少なくともこんな住民無視の暴走は改め、計画を白紙撤回し、住民と話し合うべきではないでしょうか。

【来年2月の日野市議選】日本共産党 5人の予定候補を発表

来年（2014年）2月9日告示、16日投票で日野市議会議員選挙が行われます。日本共産党は現職の4名に加え、先の都議選で奮闘した、ちかざわ美樹・日野市政とくらしの相談室長を擁立し、5名全員の当選をめざします。



（左から）清水とし子、ちかざわ美樹、中野あきと、大高哲史、奥野りん子 各予定候補

短信

年末大掃除ではないが、我が家は部屋の模様替えて大忙しである。一冊の本を見つけて、時間が足りなくなると思いつつ

中をのぞいてしまった▼本は、松本市の街を綴った『松本の地名考・わたしの街角』池田久子著である。その中に「川井訓導事件」という記載があった▼事件は、1924年（大正13）、信州大学教育学部松本分校で起こったものである。川井訓導（訓導とは教諭のこと）は、自身の研究授業を、森鷗外作品で進め、国定教科書を使わなかった。このため国定教科書を無視したと非難され、学校を追われ、同時に多くの有能な教師が学校を去った▼自由主義教育を一掃し、ファシズムにのめりこむ暗い時代の予告であった。と記されている。治安維持法はこの翌年1925年に制定されている▼戦前の稀代の悪法は治安維持法である。秘密保護法は、国民の目、口、耳をふさぐ、戦後最悪の法律である。国民の声を踏みつけて強行成立されたが、再びファシズムの再現を許してはならないと国会を取り巻くデモの波。「たたいはこれからだ」を強く感じさせる▼しばらく本を見続けた。整理ははかどらないだろう。（H）

多摩テック跡地

明治大学スポーツパーク計画が中止に！

11月上旬、建築資材の高騰などを理由に、スポーツパーク計画の中止の申し入れが明治大学からあったことが明らかになりました。

市は、申し入れに対し、一方的な中止は認められないとし、事業の継続を求めていくとしています。共同事業者である三菱商事も、事業の続行を望んでいるとも言われており、一方的な中止を打ち出した明治大学の社会的責任が問われる事態となっています。

スポーツパークは、2009年に閉園した多摩テック跡地と周辺の計約20haに、明治大学と三菱商事が共同で計画したもので、陸上などのグラウンドを5面、体育館、運動部の合宿所などを建設し、2014年のオープンを目指していたものです。

そもそもこの地域は、市街化を抑制する市街化調整区域と指定されており、開発等の制限がかっている地域です。2010年にこの構想が持ち上がった際、当時の馬場市長も「当街地が市街化調整区域及び多摩丘陵自然公園内にあることから既存の緑を極力保全し、地域植生を生かした積極的な緑化を図る」「恒久的な教育施設として担保する地区計画をつくり、無秩序な開発を将来にわ

たつて規制するとともに良好な土地利用がなされるよう誘導を図る」としていました。

市には、あくまでも緑の保全や教育施設へ限定した地区計画に基づいた揺るぎない対応が求められています。



震災ボランティア 石巻市へ

日野市の日本共産党では、11月11日～13日の3日間、宮城県の石巻市を中心に「震災ボランティア」に行ってきました。ボランティアには13人が参加しました。

多くの皆さんから提供された物品や募金で購入した洗剤や米などを、石巻市の「南境仮設住宅」（約120戸）を1軒1軒訪問し届け、また無料のバザーも行いました。被災者の皆さんから大変喜ばれました。ご協力ありがとうございました。



女川町 女川港



◇放射線量測定結果◇

南平地域 11月5日 晴れ

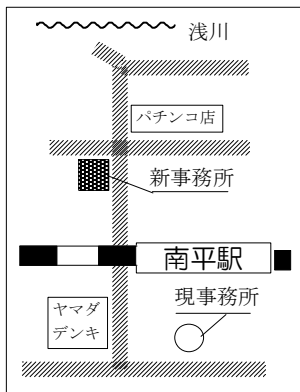
単位
マイクロバルト/時

測定場所（いずれも地上5cm）	測定値
鹿島台公園（南平1丁目） 芝生上・公園の上の方	0.062
ほほえみ公園（南平2丁目） みなみが丘住宅内・排水口上	0.054
住宅空地（南平3丁目18） 草むら	0.086
くまどう公園（南平8丁目） すべり台下	0.056
むじな谷戸公園（南平9丁目） 砂場	0.061

中野あきと事務所が移転します。

南平7丁目の北野街道沿いにある中野あきと事務所が、このほど北野街道拡幅工事とともにない下記に移転します。12月下旬には新事務所が開設されます。今後ともよろしくお願いいたします。

【新事務所】南平6-25-1
南平ビル1階



三沢3丁目造成地での土砂崩れ問題

早急な安全対策とともに乱開発の規制を！

10月16日未明の台風により三沢3丁目の宅地造成地が崩れ落ちた問題で、あらためて早急な安全対策を講じることが求められる事態が続いています。

施工業者が許可なく工事を行った事が原因で、盛土をした一部が崩れ落ちる事故が起きました。

事故の直後、東京都の指導により施工業者による応急処置が行われたものの、保全工事などの安全対策が不十分なままとなっています。近隣には住宅が立ち並んでおり、「これではいつ崩れるか心配だ」「早く対策をとってほしい」などの声が上がっています。

開発許可権限を持つ東京都が、必要な安全対策への手立てを取ることが求められています。同時に、こうした丘陵地の乱開発を防止するための規制が、日野市の防災安全のまちづくりをすすめる上で欠かせない課題となっています。

なお、日本共産党市議団は、12月議会において、東京都として安全対策を講じることがを求める意見書を提案しています。

《2014年 1月の無料法律相談》
市役所6階 共産党控室 午後1時～3時
1月 9日（木）
※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見をお寄せ下さい。